

## 城西経済学会誌既刊総目次

刊行年月	巻号	題 目	氏 名		
40年4月	1巻1号	発刊の辞	水田三喜男		
		「城西経済雑誌」の発刊を祝して	新藤富五郎		
		機関誌発刊に寄せて	佐々木吉郎		
		文学の中の経済と社会	檜崎 敏雄		
		周代墨子の経済思想と学説について	黄 廷富		
		財政政策論における基礎条件について ——社会政治的・歴史的観点からの考察——	西村紀三郎		
		港湾の重要性	矢野 剛		
		イギリスにおける1918年貸金委員会法の成立	相沢 与一		
		会計機能と管理システム ——経済意思決定プロセスとしての 会計システム——	長松 秀志		
		原価計算の過去・現在・未来	河合 寿一		
		41年6月	2巻1号	引当金の本質 ——企業会計原則と商法との調整に関連して——	野沢孝之助
				古代の書信（第一部） ——書信の成立とその発達——	井口 大介
				経済開発政策の基本的考察	小林 毅
経営経済学の科学性 ——グーテンベルクの見解を中心として——	高橋 俊夫				
41年12月	2巻2号			消費者ローンにおける利回計算	野沢孝之助
		古代の書信（第二部） ——駅制の成立とその発達——	井口 大介		
		「第一次方法論争」への間接的契機	高橋 俊夫		
		アルトゥール・カウフマン 「法律国家, 裁判官国家, 法治国家」	宮沢浩一 訳 原 秀男		
		42年12月	3巻1号	クレディ・モビリエの短期社債について	中村雄次郎

刊行年月	巻号	題 目	氏 名
42年12月	3巻1号	古代のテレグラフ	
		——電信以前のテレコミュニケーション——	井口 大介
		アルトゥール・カウフマン 「法哲学的相対主義の克服への思考」	原 秀男 野村文男 <sup>訳</sup>
43年12月	4巻1号	イギリス手形法序説	武市 春男
		国際海上コンテナ輸送と外貿埠頭公団の出現	
		——定期船雑貨輸送の革新児・コンテナ船——	矢野 剛
		EEにおける利息計算	野沢孝之助
		東欧における社会主義国家の成立 ——ルーマニアを中心として——	森田 昌幸
44年3月	4巻2号	わが国の時価発行論	桑田 勇三
		消費者信用における金利 ——月払とボーナス払——	野沢孝之助
		N. ウィーナーの“サイバネティックス”について	加藤 武信
		地租改正の実施過程における諸意見について ——旧筑摩県地租改正関係史料——	青山 秀彦
		唐代の女流詩人	黒羽 英男
44年4月	5巻1号	GETTYSBURG ADDRESS の邦訳について	松田 福松
		行為の形式的原理とその表現	丸山 豊樹
		パースにおける論理的なもの ——パース研究(1)——	西勝 忠男
		元素説と原子説 ——(R. Boyle の物質観)——	紫藤 貞昭
		フラニーとズーイー ——J. D. サリンジャーにおける 愛と救いの家庭劇——	森 哲夫
44年9月	5巻2号	為替手形当事者の能力および権限	武市 春男
		欧米のポート・オーソリティとわが国の港湾管理	矢野 剛
		貨幣価値の変動と投資計算	野沢孝之助
		アメリカ小企業政策についての一考察 ——中小企業政策国際比較の一環として——	大沢 正

刊行年月	巻号	題 目	氏 名
44年9月	5巻2号	アメリカ経済思想にみる 行動理論的思惟の一系譜(I) ……………	坂口 博
45年1月	5巻3号	経済発展と蚕糸業(I) ——イタリヤ蚕糸業の衰退—— ……………	下条 英男
		成長的景気循環理論について ——ケインズ派景気理論の 経済史的背景と理論的展開—— ……………	望月 敬之
		高度大衆消費時代と産業構造の変化 ……………	伊部 政一
		私的独占禁止法における “競争の実質的制限”について ……………	中村 敏昭
45年4月	6巻1号	イギリスにおける中小企業に対する経済思想と 経済政策についての一考察 ——中小企業政策国際比較の一環として—— ……………	大沢 正
		時価発行定着論 ……………	桑田 勇三
		唯物史観と経済学 ——この問題をめぐる論争の検討—— ……………	福田 豊
		会計数理の基本公式 ——Hoskold 公式の拡張—— ……………	野沢孝之助
45年9月	6巻2号	西ドイツとフランスにおける中小企業政策の推 移と問題 ——中小企業政策国際比較の一環として—— ……………	大沢 正
		憲法上の“公共の福祉”と独禁法上の“公共の利益” ……………	中村 敏昭
		社会主義国家の少数民族(I) ……………	森田 昌幸
		システム概念とサイバネティックス(I) ……………	加藤 武信
46年2月	6巻3号	経営における事業部制と財務について(I) ……………	平井 潔
		不利益取扱(I) ——不当労働行為の研究(I)—— ……………	中村 敏昭
		社会主義国家の少数民族(II) ……………	森田 昌幸
46年7月	7巻1号	診療の基本的理念と医事紛争防止について ……………	穴田 秀男
		経営における事業部制と財務について(II) ——利益管理に関する諸問題(1)—— ……………	平井 潔
		証券市場における時価転換社債の問題点 ……………	桑田 勇三

刊行年月	巻号	題 目	氏 名		
46年7月	7巻1号	同族会社の課税について	室本 誠二		
		景気と物価の理論 ——景気の総過程理論への一つの序章——	望月 敬之		
		不利益取扱(Ⅱ) ——不当労働行為の研究(2)——	中村 敏昭		
		株価モデルの考察 ——ゴードンを中心として——	野沢孝之助		
		中小企業金融論への提言	大沢 正		
		アメリカ経済思想にみる 行動理論的思惟の一系譜(Ⅱ)	坂口 博		
		韓国の経済発展と蚕糸業	下条 英男		
		我国英学の伝統について	松田 福松		
		チュッラ・ブダゴースの研究	森 祖道		
		チャンスと法則 ——パース研究(3)——	西勝 忠男		
		ヴィトゲンシュタインの後期哲学について ——言語論哲学の基礎——	山口 勲		
		46年12月	7巻2号	イギリス小切手法論	武市 春男
				証券発行市場における証券業と金融業の職能分離論 ——証取法65条をめぐるて——	桑田 勇三
				経営における事業部制と財務について(Ⅲ) 利益管理に関する諸問題(2) ——業績評価と報奨制度——	平井 潔
EC型付加価値税の検討	室本 誠二				
原価情報モデルの一考察	加藤 武信				
さくらプラスチック産業株式会社	坂口 博				
47年3月	7巻3号	現代経済学説(理論)の 一柱石に関する経過と変遷について ——福祉国家理論の形成に関する一点検——	坂本 新三		
		ケインズ思想 ——《若き日の信条》を中心として——	山口 勲		
		イタリアにおける数種の「財務数学」書について	野沢孝之助		

刊行年月	巻号	題 目	氏 名
47年3月	7巻3号	河合信雄編『現代企業税制批判』……………	室本 誠二
47年7月	8巻1号	意志決定論……………	原田 行男
		社会主義国家の少数民族(Ⅲ)——完……………	森田 昌幸
		日本製糸業の地域的展開……………	田村 正夫
		事実と価値についての序章……………	山口 勲
47年11月	8巻2号	戦後の世界経済の成長……………	下条 英男
		日本の家族制の変化と消費者の質的变化……………	渡辺 好章
		多国籍企業における行動と論理……………	保永 昌宏
		A. エツィオーニの組織理論の特質……………	加藤 武信
		全員出席総会について……………	小宮山宏之
48年3月	8巻3号	意志決定論——その2——……………	原田 行男
		社会的費用と交通政策……………	小淵 洋一
		再投資循環の定常的分析と動態的分析(上) ——中期循環研究への一試論——……………	望月 敬之
		„Gott ist tot!“をめぐると考察……………	木阪 昌知
		『ハーゾグ』 ——混沌のなかの静謐——……………	森 哲夫
		中米における古代石造彫刻品について ——特にマヤ地域と その周辺地域を中心として——……………	貞末 堯司
48年7月	9巻1号	再投資循環の定常的分析と動態的分析(下) ——中期循環研究への一試論——……………	望月 敬之
		経営成果と付加価値税……………	室本 誠二
		アメリカ経済思想にみる 行動理論的思惟の一系譜(Ⅲ)……………	坂口 博
		アルフレッド・マーシャルの経済学に関する一点検……………	坂本 新三
		首都圏の都市成長前線帯における小売商地域の形成(Ⅱ) ——埼玉県毛呂山町の場合——……………	田村 正夫
48年9月	9巻2号	多国籍企業における会計の一典型 ——オランダ会計理論の本質——……………	保永 昌宏
		利付債券の価格と利回り……………	野沢孝之助

刊行年月	巻号	題 目	氏 名
48年9月	9巻2号	イギリス法上の会社と組合	武市 春男
		自然法の系譜と近代自然法論の特性	杉原誠四郎
		清水英夫著『現代出版学』	井口 大介
49年1月	9巻3号	東京都中期計画における財源問題に関する一考察	原田 行男
		アルフレッド・マーシャルの 経済学に関する一点検(Ⅱ)	坂本 新三
		私企業の経済的形態分類に関する一試論 ——法制的企業形態よりの完全なる脱皮と 実証的研究のための方法論として——	武田 実
		宗教史にみる日本的均衡のメカニズム(上) ——マーケティングと宗教の関連において——	渡辺 好章
		経営情報システム・アプローチの特質	加藤 武信

## 別冊・城西人文研究総目次

48年12月	創刊号	序	武市 春男
		『城西人文研究』の創刊に際して	蒔田 栄一
		ニーチェとキリスト教倫理	木阪 昌知
		マヤの石造建築における「持送りアーチ」について	貞末 堯司
		意味と認識 ——パース研究(4)——	西勝 忠男
		シーハラヴァットパカラナ訳註(Ⅱ) ——第1章 第3・4・5話——	森 祖道
		独白と対話 ——ジョイスとペローの距離——	茂呂 公一
		ポーにおけるグロテスクとアラベスク	水田 宗子
		内村鑑三おぼえ書き(その八)	岩谷 元輝
		人間の社会的構造と疎外	松浦 孝作
		『靈魂の系図』について ——Carlyle を中心として——	松田 福松
		カフカの世界 ——非ユダヤ的ユダヤ人——	山口 勲